

「100年企業づくり」の
プロフェッショナル

長期存続する企業と 短命で終わる会社の分かれ目

企業の永続——これは経営者にとって最大の関心事のひとつだ。しかし、ある調査によれば、同時期に設立された会社で30年間続いた会社はわずか0.025%。1万社のうち2〜3社のみという結果だった。どうすれば「狭き門」に入ることが可能なのか。120年の歴史を有する日本最古の工業グループで、「100年企業」の調査研究を行っているTOMAコンサルタンツグループ代表の藤間氏に、長期存続している企業の共通項などを聞いた。



TOMAコンサルタンツ
グループ
代表取締役 公認会計士
藤間 秋男
とうま あきお

1952年、東京都生まれ。1975年に慶應義塾大学商学部卒業。1982年に藤間公認会計士事務所(現:TOMAコンサルタンツグループ株式会社)を設立し、現在は代表取締役・理事長を務める。

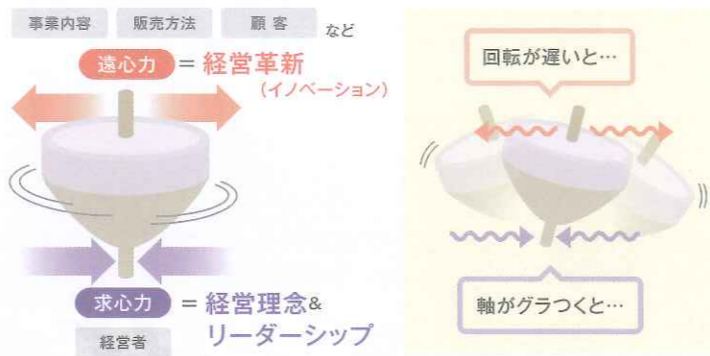
「100年企業」を見てきましたが、そうした会社にはいくつかの共通項があります。そのひとつが「絶えず変化すること」です。

「なぜ、変化することが重要なんですか。」

私は多くの「100年企業」を見てきましたが、そうした会社にはいくつかの共通項があります。そのひとつが「絶えず変化すること」です。

室町時代に創業、480年以上の歴史を持つ和菓子の老舗、株式会社虎屋の事例をお話しましょう。「とらや」といえば、多くの方は羊羹を連想すると思います。しかし、同社は圧倒的なブランド力を持つ伝統の羊羹に依存せず、つねに斬新な和菓子を開発し続けてきました。

— 長期継続を可能にする「コマ経営」 —



最高の教科書は当事者の証言

「長期継続するには、経済危機や天変地異など、不測の事態を乗り越えることも必要です。老舗企業は、どのように危機を克服してきたのですか。」

そのお手本は、元禄期の1699年に創業した株式会社「いんべん」のケースでしょう。時代は江戸末期にさかのぼります。明治維新は日本を近代化させましたが、一方で大きな副作用をもたらしました。殿様や侍が「一斉に失業、掛け売りの支払いが不能となり、貨幣経済が停止してしまつたのです。そのため、江戸の豪商が次々倒産するなど、空前の経済危機が発生しました。その渦中において、いんべんは、現代という商品券を発行。お金を先払いしてもらった仕組みをつくりました。文明開化の世相ともマッチして商品券は人気

管理念にほかなりません。パナソニックの創業者である松下幸之助氏は、「経営成功要因の3原則」として、次の条件を掲げています。①経営成功要因の50%は経営理念の確立と浸透(絶対条件)、②社員の個性を最大限に発揮できる環境をつくること(30% (必要条件))、③戦略と戦術が20% (付帯条件)。そして、「①と②と③が経営者の仕事であり、それができたら③は社員の好きにやらせたらよい」と言うのです。

「経営革新の継続と不変の経営理念が、100年企業の共通項なのです。」

松下氏は「経営理念が確立できれば、その事業は半分成功したようなもの」と喝破しています。

「最後に、経営者にメッセージをお願いします。」

100年企業の経営者は一様に「いまが最大の危機だ」と口をそろえます。看板商品やブランド力に慢心せず、つねに危機感を持つて経営する。これも、長期継続させるための秘訣のひとつです。当グループは、120年以上続く日本最古の工業グループです。この間には第二次世界大戦など、何度も大きな困難に直面しました。税務・会計サービスだけではなく、こうした自社の経験を踏まえたアドバイスや経営支援を提供し、100年企業が1社でも増えるよう、貢献していきたいですね。また、当社では長期存続している企業のトップや著名経営者を招き、自身

の経験にもとづいた実践的なアドバイスが聞けるセミナーも開催しています。当事者の証言は最高の教科書。外部環境が変化しようと、経営者にとって「打つ手は無限」です。本セミナーでは具体的な実行策をお伝えしますので、関心のある方は気軽に参加してください。

TOMA コンサルタンツグループ株式会社

創業/1890年
設立/1982年12月
資本金/5,750万円
グループ会社/TOMA税理士法人、TOMA社会保険労務士法人、TOMA監査法人、TOMA行政書士法人など
社員数/150名(公認会計士8名、公認会計士試験合格者3名、米国公認会計士1名、税理士33名、国税局OB税理士8名、税理士試験科目合格者27名、社会保険労務士11名、中小企業診断士3名、司法書士2名、行政書士4名、M&Aシニアエキスパート3名、人事労務コンサルタント10名、経営コンサルタント10名、医療経営コンサルタント10名、ITコンサルタント10名、FP20名、賃貸不動産管理士1名ほか)
業務内容/経営支援事業(税務・会計・経営・再生・人事・労務・相続・事業承継ほか)
URL/http://www.toma.co.jp/

定員先着
300名 具体的実行策を伝授!

TOMAコンサルタンツグループ主催 特別セミナー 「永続企業になるための 「変革する経営」

基調講演 「変革と成長を続ける 強い組織の作り方」

カルビー 代表取締役会長 兼 CEO

松本 晃 氏

伊藤忠商事、ジョンソン・エンド・ジョンソン(日本人)社長などを経て、2009年にカルビー会長兼CEOに就任。創業家から経営を託され、2年で上場を果たした。抜本的な構造改革に挑み、会長就任以来、4期連続で最高益を更新中。変革と成長の「松本流経営手法」の真髄を講演してもらう

「永続発展する中小企業の作り方」

TOMAコンサルタンツグループ 代表取締役 理事長

藤間 秋男 (公認会計士・税理士)

日時
2013年7月8日(月)
14時~16時30分(開場は13時30分)

会場
東京ステーションコンファレンス5階
501(サビアタワー5F)
東京都千代田区丸の内1丁目7番12号
会場連絡先 03-6888-8080(代表)

参加費
5,000円(税込)
※収益金は日本赤十字社を通して東北被災地に寄附します

お申し込み先
☐toma@toma.co.jp

件名に「7/8セミナー参加」とご記入のうえ、本文に【経営者通信を見た】【会社名】【お名前(役職名)】【ご連絡先(電話番号)】を明記し、上記メールアドレスまでEメールをお送りください。折り返し、参加費振込先などを明記した特別セミナーのご案内を返信いたします。ご入金を確認できしだい、参加チケットをご郵送いたします。

TOMAコンサルタンツグループのホームページから
参加申込書をダウンロードできます

TOMA 検索

お問い合わせはコチラから
TOMAコンサルタンツグループ 総合企画部
☎03-6266-2561

※本セミナーの参加は一般企業の経営者・役員者・社員の方に限定させていただきます。会計士・税理士・社会保険労務士などの士業関係者および経営コンサルタントの方は参加をご遠慮ください